







小川町の農家の庭すみかに寛永通宝、天保通宝など江戸時代の古銭が八千枚以上(目方にして四十五枚)も発見され、旧家だけじよんじよは小川でも出るのではないかと町の話題をさらつてゐる。

## 古銭、八千枚も発見

### 小川 旧家の水道工事で

小川町上小川横川一、農業国井当ばがただらうといわれている。古銭が出土の場所は四十六年前に在母屋を新築中であらかだできあがつたが二十一年後二時頃までじやめになると石があつたので水道を引いたため家の裏側を掘つたところ、三十枚下に石があつたので三千枚と天保通宝百枚、銅製のもの出てきた。天保通宝は黄銅色で鏽いており、掘り出した人夫は「小

さ五十枚の右のアタを」と内部

は砂が一面に敷かれておりち

きりだが、小粒

の話でもち

田の人々は「と

こやさんなら

金も出だべ!

町の人々は「と

こやさんなら

金も出だべ!</

